

西中だより

平成27年度 No.6
平成27年 6月 2日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

＃＄＃ 支部陸上競技大会や練習を通して学んだこと（3年生の感想より）＃＄＃

（次号に続く）＜敬称略＞

- 今回で、支部陸上に関して学んだ生徒の感想紹介は終わります。保護者や生徒の皆さんは、どのような感想を持たれたでしょうか。身近に素晴らしい友がいることを忘れないでください。
- ・「練習をさぼるとタイムが縮まらなくなったり、遅くなったりするのが本当に分かりました。支部陸上大会の前の練習では、さぼらずに練習したので大会で自己ベストが出せました。」＜芳賀天南＞
- ・「『やるからには全力で』を忘れずに競技に臨みました。リレーでは、自分を信じて、仲間をより信じて走りました。練習はとても大切で、練習があったからこそ優勝できたのだと思います。自分はまだまだ未熟者だと痛感しました。みんなの応援のお陰で優勝できました。」＜渡邊優翔＞
- ・「支部陸上大会を終えて、学んだことは時間の使い方です。特設陸上部なので、少しの時間しか練習できません。登校したらすぐに校庭へ出て、道具を自分で準備することの大切さを学びました。これからも学んだことを忘れずに心がけていきたいです。」＜二瓶莉湖＞
- ・「支部陸上大会に出場して、『緊張感』と『あせり』で、思うようなプレイ（走り）ができませんでした。学年なんて関係ない。勝負事は実力なんだと気づきました。支部総合大会では、実力を出して、自分で最高と思えるプレイをしたいと思います。」＜和田桃花＞
- ・「私は大会前にケガをしてしまい、出場できるか不安でした。治療に励んだ結果、何とか出場でき、2位という素晴らしい結果を得ることができました。『病は気から』と言われますが、困難にあっても気持ちさえしっかりしていれば、何とかなるんだということを学びました。」＜高橋 光＞
- ・「私は3年生になってから、休まず練習に参加しました。今年の支部陸上大会では、砲丸投げで5位、リレーで優勝することができました。日頃の練習の積み重ねが大事だと思いました。」＜松田彩花＞
- ・「朝が早い朝練は、嫌だなと何回も思いました。でも、みんなからの『ガンバ』の声で長い距離を走りきることができました。出場した1500mでは、良い結果を残すことができませんでしたが、友達やチームメイトの大切さを学びました。」＜松浦瑠那＞

《 校長のつぶやき 》・・・「2か月が経過して感じること」・・・

- 「掃除は、汚れたからするのではなく、汚さないようにするのです」これは、荒了寛禅師のことばです。特に、心をくもらせないために掃除が大切なのだそうです。本校は、学校の敷地内に自然が息づく素晴らしい学校です。校庭は、野球部、サッカー部、特設陸上部等が、活動した後にレーキをかけ、平らに土をならして終わります。その光景は素晴らしいと思います。（校庭には草が生えていません。）
- 毎日、生徒と先生が15分という限られた時間の中で、一生懸命に掃除に取り組んでいます。各家庭で掃除の機会が減少している昨今では、よく取り組んでいると思います。ただ、自分を高める15分間なのに、つまらぬ話をしたり、集中できないで遊んでしまったりする生徒が見られるのが残念です。長年の経験から言えることは「掃除が上手くできる生徒は、勉強や他の仕事も上手くできるものです。」その理由は、清掃を通して「物事の段取り」が身に付くからです。
- 毎朝、校長室前の掲揚塔に国旗・市旗・校旗が掲げられます。だいたい時間が決まっています。よく忘れずに掲げるなど感心して見えています。当然、放課後も忘れずに旗は降ろされます。このように、いつも決まったことを忘れずに行える習慣を身に付けた生徒は素晴らしいと思います。そして、このような伝統を持つ西袋中が、更に良くなっていくことを期待します。
- 校門前は学校の顔です。清掃の時間を使って少しずつ綺麗に清掃してきました。春には草が生え、土が固まった状態であった縁石が綺麗になっています。気のせいか、登校してくる生徒の足取りも軽やかになってきたように感じます。

